

時数・教材

1 移行措置期間の時数

- 3・4年は、15時間
- 5・6年は、50時間(35時間+15時間)
⇒ 外国語活動として実施
- 3・4年を35時間
- 5・6年を70時間(35時間+35時間)
⇒ 先行実施することも可能

2 使用教材について

- 3・4年は、新教材(文科省作成)
- 5・6年は、Hi, friends!(30時間程度)
+ 新教材(20時間程度)

※5・6年が先行実施を70時間行う場合は、Hi, friends! と新教材の両方を扱うものとし、新教材のみの実施はできません。



指導内容

1 新教材(文科省作成)

- 3年生でアルファベットの大文字に慣れ親しみ(UNIT6)、
- 4年生でアルファベットの小文字に出会います。(UNIT6)
- 5年生のUNIT1～4でアルファベットの文字を書くことで認識を深め、
- 6年生では、お手本を見ながら単語、文を書く活動を行います。
- 小学校では、文法は勉強しませんが、
- 5年生のUNIT5, 9では、「第三者を紹介する」活動を行い、
- 6年生のUNIT5, 7では、「過去のこと」を伝え合う活動を行います。

2 今後の予定

- 12月 3・4年新教材及び指導書HP掲載
- H30年2月 全ての小学校に児童冊子・指導書・デジタル教材(完成版、3～6年)を送付
- 4月 移行措置・先行実施による授業開始

評価

1 外国語活動として評価

- H30・31年度は、先行実施についても外国語活動として扱います。
- つまり、3～6年とも、現在の3観点
 - ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 - ②外国語への慣れ親しみ
 - ③言語や文化に関する気付き
 について記述による評価を行います。

2 指導要録について

- 第3学年及び第4学年は、総合所見及び指導上参考となる諸事項を記録する欄に児童の学習状況に顕著な事項がある場合に記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。
- 第5学年及び第6学年は、外国語活動の記録の欄に文章で記述。(現在の取扱いと同様)



参考資料

新学習指導要領

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm

H30年度使用新教材ダウンロード専用サイト(ID・パスワードが必要)

<http://mext-next-kyozai.net/>